

京都工芸繊維大学（松ヶ崎） 2号館（南棟）空調改修工事

質 疑 回 答 書（設 計 図 書）

京都工芸繊維大学施設環境安全課				
課 長	副課長	係 長	主 任	係 員
				

# 質 疑 回 答 書(設 計 図 書)

令和7年12月17日

工事名 京都工芸繊維大学(松ヶ崎)2号館(南棟)空調改修工事

No.	図面・名称	質 疑 事 項	回 答
1	M-04,M-07	2階染色体工学無菌室のパッケージエアコンACP11(既存ACP-8)は図面No.M-04機器表では天井カセット型(2方向吹出型),図面No.M-072階平面図では,壁掛型となっております。2階平面図を正として,壁掛型で積算して良いでしょうか,ご指示下さい。	壁掛型を正とする。
2	特-02	特記仕様書(2)撤去工事にアスベスト産廃処理の項目がありませんので,アスベスト対策産廃処理等の費用は別途と考えて,積算して良いでしょうか,御指示ください。	アスベスト対策が必要な場合は別途とする。
3	M-04	機器表にACP16の天井カセット2方向と4方向吹出し型がありますが,パッケージエアコンに定格冷房能力の16kWタイプがありません。最大冷房能力のパッケージ型で選定してよろしいですか。	M-04図の差替を行うのでそちらを参照とする。
4	M-07	染色体工学無菌室のACP11が壁際にありますが,機器表には天井カセット型2方向吹出し10kWになっています。配管の延長と天井改修は必要と考えてよろしいですか。	機器は壁掛型とし,配管延長や天井改修は必要無しとする。 M-04図の差替を行うのでそちらを参照とする。
5	M-03,M-04	M-03記載のACMマ2の壁掛型2.8kWとM-04記載のACP15の壁掛型5.6kWの据付位置が両方も2F染色体工学暗室になっています。ACP15は染色体工学機械室と考えてよろしいですか。	ACMマ2が234Cとし,ACP15は234A(南)とする。
6	M-07,M-08	231室と336室を天井張替え等の改修を行うとありますが,天井の材質及び工法(下地張り等)をご指示ください。また,軽量鉄骨下地は既設再利用と考えてよろしいですか。	231室についての天井はPB(厚み9.5mm)+RB(厚み9mm)の2重張り,336室については化粧PB(厚み9.5mm)とする。軽量鉄骨下地については再利用が出来る部分は再利用可とする。
7	M-11	GHP-5系統の室内機の合計冷房能力が46kWに対し既設室外機の能力は71.0kWと記載されています。既設室外機の能力は機器表通りと考えてよろしいですか。	よろしい。
		以下余白	

# 指 示 書

令和7年12月17日

工事名 京都工芸繊維大学（松ヶ崎）2号館（南棟）空調改修工事

※標記工事の設計図書について、下記の通り変更します。

No.	指 示 事 項
1	M-04図（空調設備機器表（2）（改修））を添付図に変更とする。 図面中、主な変更箇所を □ で 囲む。
2	機器については高効率機器としているが、空調機器（マルチ室外機）の参考品番としてはPUHY-GRP●●DMG7、RQUP●●FCR、MMY-UP●●2RSとする。 設置室内機が既存より小型になる場合はワイドパネルも設置するものとする。
	以下余白

空調・換気機表 (3)

機器番号	機器名称	機器仕様	動力		台数	据付位置	備考
			φ-V	KW			
ACM50 (528)	ビル用マルチエアコン (既存機器GHP23、YGZP710H1N)	型式 室外機 冷房能力 50.0KW 暖房能力 56.0KW (電源は周辺にある1W-2盤 (既存空きブレーカー-取り外し) 75Aブレーカー取付して そこから取り出しを行う。)	3-200	19.9 (消費電力)	1	屋外	
ACM-マ11	ビル用マルチエアコン	型式 天井カセット型 (2方向) 冷房能力 11.2KW 暖房能力 12.5KW	1-200	0.05	3	5F 化学学生態学 528 第1実験室	(既存GHP-23-1、HWAP112K)
ACM-マ14	ビル用マルチエアコン	型式 天井カセット型 (2方向) 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW	1-200	0.085	1	5F 化学学生態学 543 教員研究室	(既存GHP-23-3、HWAP140K)
ACM50 (545)	ビル用マルチエアコン (既存機器GHP24、YNZP560L1NB)	型式 室外機 冷房能力 50.0KW 暖房能力 56.0KW (電源は周辺にある1W-4盤75Aブレーカーから取り出しを行う。)	3-200	19.9 (消費電力)	1	屋外	室外機は別途再利用できるように撤去
ACM-マ9	ビル用マルチエアコン	型式 天井カセット型 (2方向) 冷房能力 9.0KW 暖房能力 10.0KW	1-200	0.05	2	5F 生物分子機能学 545 第2実験室	(既存GHP-24-1、HWAP90K)
ACM-マ14	ビル用マルチエアコン	型式 天井カセット型 (2方向) 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW	1-200	0.085	1	5F 生物分子機能学 546 教員研究室	(既存GHP-24-2、HWAP140K)
ACM-マ11	ビル用マルチエアコン	型式 天井カセット型 (2方向) 冷房能力 11.2KW 暖房能力 12.5KW	1-200	0.05	1	5F 生物分子機能学 547 教員研究室	(既存GHP-24-3、HWAP112K)
ACM22	ビル用マルチエアコン (既存機器GHP2、YNZJ450E1N)	型式 室外機 冷房能力 22.4KW 暖房能力 25.0KW (電源は周辺にある1W-6盤 (既存空きブレーカー-取り外し) 40Aブレーカー取付して そこから取り出しを行う。)	3-200	6.23 (消費電力)	1	屋外	
ACM-マ11	ビル用マルチエアコン	型式 天井カセット型 (2方向) 冷房能力 11.2KW 暖房能力 12.5KW (空調能力を大きくするため、現状機器とサイズが変わる場合は天井改修を見込むこと。)	1-200	0.062	2	2F 231 0223講義室	(既存GHP-2-1、HGJ90K1)

機器番号	機器名称	機器仕様	動力		台数	据付位置	備考
			φ-V	KW			
ACP-リ12	空冷ヒートポンプエアコン (既存ACP-9、RZYP140AA (E) (H))	型式 天井カセット型 (2方向) 冷房能力 12.5KW 暖房能力 14.0KW	3-200	3.02 (消費電力)	1	2F 昆虫生理機能学 240 第3実験室	
ACP-リ12	空冷ヒートポンプエアコン (既存ACP-6、RZYP140AA (E) (H))	型式 天井カセット型 (2方向) 冷房能力 12.5KW 暖房能力 14.0KW	3-200	3.02 (消費電力)	1	2F 応用生物学科 242 第2共通機器室	
ACP-リ5	空冷ヒートポンプエアコン (既存ACP-7、RZYP50AAT)	型式 壁掛型 冷房能力 5.6KW 暖房能力 6.3KW	3-200	1.28 (消費電力)	1	2F 染色体工学研究室 234A(南)	
ACP-リ10	空冷ヒートポンプエアコン (既存ACP-8、RZYP112AA (E) (H))	型式 天井カセット型 (2方向) 冷房能力 10.0KW 暖房能力 11.5KW	3-200	2.21 (消費電力)	1	2F 染色体工学無菌室 234B	
ACP-リ12	空冷ヒートポンプエアコン (既存ACP-9、RZYP140AA (E) (H))	型式 天井カセット型 (2方向) 冷房能力 12.5KW 暖房能力 14.0KW 送風機一室内0.8KW 室外0.14KW	3-200	3.02 (消費電力)	1	2F 応用生物学科 236 会議室	
ACP-リ14	空冷ヒートポンプエアコン (既存ACP-0、既存機器RZYP112AA (E) (H))	型式 天井カセット型 (2方向) 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW	3-200	3.02 (消費電力)	1	3F 昆虫工学 336 第3実験室	
ACP-リ14	空冷ヒートポンプエアコン (既存ACP-14、既存機器RZYP160AA (E) (H))	型式 天井カセット型 (2方向) 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW	3-200	3.85 (消費電力)	1	3F 構造生物学 348 教員研究室	
ACP-リ12	空冷ヒートポンプエアコン (既存ACP-16、既存機器RZYP140AA (E) (H))	型式 天井カセット型 (2方向) 冷房能力 12.5KW 暖房能力 14.0KW	3-200	3.02 (消費電力)	1	3F 微生物工学 342 培養実験室	
ACP-リ14	空冷ヒートポンプエアコン (既存ACP-4A、既存機器RZYP112F)	型式 天井カセット型 (4方向) 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW (電源は周辺にある1W-1空調盤 (30Aブレーカー) より取り出しを行う。)	3-200	3.85 (消費電力)	1	1F 応用生物学科 125 第一共通実験室	
ACP-リ5	空冷ヒートポンプエアコン (既存ACP-11A、既存機器FDGVJ63HD3)	型式 天吊り型 冷房能力 5.6KW 暖房能力 6.3KW	3-200	1.28 (消費電力)	1	1F 応用生物学科 125 第一共通実験室	
ACP新11	空冷ヒートポンプエアコン	型式 天井カセット型 (2方向) 冷房能力 11.2KW 暖房能力 12.5KW (電源は周辺にある1W-6空調盤 (30Aブレーカー) より取り出しを行う。) (なお、1W-6には30Aブレーカーが2つしかないため、1つは既存20Aブレーカーと取替設置すること)	3-200	2.21 (消費電力)	3	5F 化学学生態学 435、436	
ACP新14	空冷ヒートポンプエアコン	型式 天井カセット型 (2方向) 冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW (電源は周辺にある1W-1空調盤 (30Aブレーカー) より取り出しを行う。)	3-200	3.02 (消費電力)	1	5F 化学学生態学 542 第2実験室	

- 表示冷房・暖房能力は、JIS B 8616条件時に補正した定格能力 (冷媒配管補正係数) を示す。
- 室内機はドレンアップメカ組み込みとする。
- 高調波対策仕様とする。(対応機器全て)
- 空調機がグリーン購入法適合品とする。(対応機器全て)
- 防振設置として、室外機は防振ゴム、室内機は防振吊金具を設置する。
- リモコンスイッチはワイヤードリモコンとする。各機器についてはメーカー標準フィルターや標準付属品は設置とする。
- 設置前に既存機器設置状況を確認し、設置後、室内状況等により各種調整を行うこと。
- 機器については高効率機器 (メーカーが上位機種として位置づけているもの (APFが7、COPが4等)) とし、リモコンはスケジュールタイマー機能があるものとする。

既存機器からのリプレイス更新にあたっては、採用する機器が必要とする仕様を確認の上、必要となる設置調整等を行うこと。(本工事で室外機電源配線等も行うが、設置機器に必要な仕様の設置工事を行うこと)

設計業務名 京都工芸繊維大学 (松ヶ崎) 2号館等 空調設備改修設計業務	図面名称 2号館南棟 空調設備 機器表	縮尺 A1 : N.S A3 : N.S	設計年月日 令和 4年 7月 29日	種類 整理番号	年度
--	------------------------	----------------------------	-----------------------	------------	----

京都工芸繊維大学施設環境安全課			
課長	副課長	係長	主任
上田	中村	村上	村上
副課長	主任	課長	主任
副課長	主任	課長	主任
副課長	主任	課長	主任